

交通・運輸、観光サービス産業の課題解決に向け 国土交通省と引き続き連携していくことを確認！

交運労協は、7月1日付の国土交通省幹部クラスの人事異動を受けて、7月15日・17日・18日の三日間、鶴田浩久総合政策局長、沓掛敏夫道路局長、石原大物流・自動車局長、新垣慶太海事局長、安部賢港湾局長、宮澤康一航空局長に対して表敬訪問を行なった（観光庁の村田長官へは7月28日に訪問予定）。

挨拶の中で、池之谷議長は、「交通・運輸、観光サービス産業では、担い手不足が深刻な状況にあり、現場の仲間たちは対応に苦慮している。課題解消に向け、担い手が集まる産業を目指し、さらなる努力を続けるためには、貴省の協力が必要である。貴省に対し、今後、『2026年度予算概算要求』と『税制改正要望』を提出するが、ぜひとも積極的にご対応願いたい。貴省とはこれまで以上に連携を強化しながら、将来に亘って産業が発展し、そこに働く仲間の努力が報われる社会を実現していきたい」と述べた。



鶴田 総合政策局長



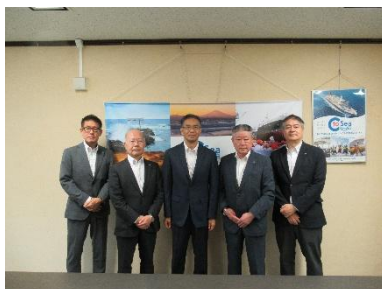
沓掛 道路局長



石原 物流・自動車局長

各局長からは、「日頃より、わが国の経済活動と国民の暮らしを支えている交通・運輸、観光サービス産業で働くエッセンシャルワーカーの皆様に敬意を表すとともに、貴協議会のご協力に感謝を申し上げます。現場の声を基に様々な取り組みを展開されているものと承知しているが、こちらも窓は常には開いているので、今後とも意見交換させていただきたい」と応じていただいた。

交運労協は、新たな体制となった国土交通省と、さらに連携を強化し、取り組んでいく。



新垣 海事局長



安部 港湾局長



宮澤 航空局長

以上